



令和8年度

学 校 要 覧



高根中学校校歌

作詞 鈴木英司
作曲 中嶋 昭

一、見晴らし遠き 高台の
白くそびゆる 学び舎よ
集う若人 志気に燃え
理想かざして 励まなむ
われら 船橋高根中

二、拓くる大地 踏み立てば
みなぎる力 湧く泉
精神と身体 鍛えつつ
高き文化を 育くまむ
われら 船橋高根中

三、緑の園に 降りそそぐ
あやなす光 身に浴びて
ともに知性を 磨き合ひ
輝く歴史 築かなむ
われら 船橋高根中

船 橋 市 立 高 根 中 学 校

〒274-0814 船橋市新高根1-17-2

電話 047-464-3811

FAX 047-464-3807

I 沿革の概要等

1 沿革

昭和

48. 4. 1	船橋市立高根中学校として開校	初代校長 鈴木英司、教職員 20 名、生徒総数 372 名(9 学級)			
48. 4. 6	入学式 入学生 187 名	生徒総数 372 名(9)			
49. 4. 6	入学式 入学生 234 名	生徒総数 646 名(16)	50.3.15 第 2 回	卒業式	卒業生 177 名
50. 4. 6	第2代校長 椎名 皓亮				
	入学式 入学生 332 名	生徒総数 881 名(19)	51.3.15 第 3 回	卒業式	卒業生 233 名
51. 4. 6	入学式 入学生 436 名	生徒総数 1019 名(24)	52.3.15 第 4 回	卒業式	卒業生 245 名
52. 4. 6	入学式 入学生 394 名	生徒総数 1104 名(26)	53.3.11 第 5 回	卒業式	卒業生 330 名
53. 4. 6	入学式 入学生 452 名	生徒総数 1221 名(28)	54.3.11 第 6 回	卒業式	卒業生 383 名
54. 4. 6	第3代校長 巽 正夫				
	入学式 入学生 407 名	生徒総数 1242 名(29)	55.3.13 第 7 回	卒業式	卒業生 377 名
55. 4. 7	入学式 入学生 461 名	生徒総数 1309 名(30)	56.3.13 第 8 回	卒業式	卒業生 422 名
56. 4. 7	入学式 入学生 458 名	生徒総数 1307 名(30)	57.3.17 第 9 回	卒業式	卒業生 402 名
57. 4. 6	第4代校長 本城 光二				
	入学式 入学生 500 名	生徒総数 1397 名(31)	58.3.12 第 10 回	卒業式	卒業生 438 名
57.11.13	創立 10 周年記念式典				
58. 4. 6	入学式 入学生 436 名	生徒総数 1388 名(31)	59.3.13 第 11 回	卒業式	卒業生 444 名
59. 4. 6	入学式 入学生 440 名	生徒総数 1358 名(31)	60.3.13 第 12 回	卒業式	卒業生 493 名
60. 4. 6	入学式 入学生 466 名	生徒総数 1330 名(31)	61.3.13 第 13 回	卒業式	卒業生 432 名
61. 4. 7	入学式 入学生 418 名	生徒総数 1318 名(31)	62.3.13 第 14 回	卒業式	卒業生 442 名
62. 4. 7	第5代校長 高梨 和宏				
	入学式 入学生 368 名	生徒総数 1236 名(30)	63.3.13 第 15 回	卒業式	卒業生 452 名
63. 4. 1	市教委 CAII 研究指定(3 か年)		平成		
63. 4. 6	入学式 入学生 319 名	生徒総数 1095 名(27)	1.3.13 第 16 回	卒業式	卒業生 409 名

平成

1. 4. 1	県教委 CAI 研究指定(2 か年)				
1. 4. 6	入学式 入学生 317 名	生徒総数 1003 名(25)	2.3.13 第 17 回	卒業式	卒業生 367 名
2. 4. 7	入学式 入学生 284 名	生徒総数 914 名(24)	3.3.13 第 18 回	卒業式	卒業生 320 名
2.10.16	CAI 研究公開発表				
3. 4. 6	第6代校長 西澤 悟				
	入学式 入学生 259 名	生徒総数 845 名(22)	4.3.12 第 19 回	卒業式	卒業生 311 名
4. 4. 7	入学式 入学生 227 名	生徒総数 763 名(21)	5.3.12 第 20 回	卒業式	卒業生 281 名
4.10.31	創立 20 周年記念式典				
5. 3.31	ランチルーム・給食施設竣工				
5. 4. 6	第7代校長 皆川 征夫				
	入学式 入学生 234 名	生徒総数 708 名(19)	6.3.11 第 21 回	卒業式	卒業生 256 名
6. 4. 6	入学式 入学生 227 名	生徒総数 673 名(18)	7.3.10 第 22 回	卒業式	卒業生 221 名
7. 4. 6	第8代校長 末吉 昭任				
	入学式 入学生 188 名	生徒総数 638 名(17)	8.3.12 第 23 回	卒業式	卒業生 225 名
8. 4. 6	入学式 入学生 172 名	生徒総数 585 名(16)	9.3.11 第 24 回	卒業式	卒業生 226 名
8.11. 1	千葉県教育功労賞団体の部受賞				
9. 4. 7	入学式 入学生 176 名	生徒総数 530 名(15)	10.3.10 第 25 回	卒業式	卒業生 184 名
10. 4. 7	第9代校長 古木 純雄				
	入学式 入学生 145 名	生徒総数 491 名(14)	11.3.10 第 26 回	卒業式	卒業生 174 名
11. 4. 6	第 10 代校長 関根 誠治				
	入学式 入学生 155 名	生徒総数 465 名(13)	12.3.10 第 27 回	卒業式	卒業生 164 名
12. 4. 6	入学式 入学生 151 名	生徒総数 447 名(12)	13.3. 9 第 28 回	卒業式	卒業生 140 名
13. 4. 1	市教委選択教科研究指定(3 か年)				
13. 4. 6	入学式 入学生 132 名	生徒総数 438 名(12)	14.3. 9 第 29 回	卒業式	卒業生 158 名
14. 4. 8	第 11 代校長 西崎 勝則				
	入学式 入学生 139 名	生徒総数 416 名(12)	15.3.11 第 30 回	卒業式	卒業生 151 名.
14.10.31	創立 30 周年記念式典				
15. 4. 8	第 12 代校長 佐々木 清美				
	入学式 入学生 135 名	生徒総数 402 名(12)	16.3.10 第 31 回	卒業式	卒業生 125 名
15.10.9	選択教科研究公開授業				
16. 4. 8	入学式 入学生 135 名	生徒総数 410 名(12)	17.3.10 第 32 回	卒業式	卒業生 139 名
17. 4. 8	第 13 代校長 大勝 睦美				
	入学式 入学生 121 名	生徒総数 389 名(12)	18.3.10 第 33 回	卒業式	卒業生 135 名
18. 4. 7	入学式 入学生 126 名	生徒総数 375 名(11)	19.3.9 第 34 回	卒業式	卒業生 129 名

19. 4.10	第 14 代校長 生方 己喜夫				
	入学式 入学生 127 名 生徒総数 377 名(12)	20.3.10 第 35 回	卒業式	卒業生 122 名	
20. 4. 8	入学式 入学生 128 名 生徒総数 384 名(12)	21.3.10 第 36 回	卒業式	卒業生 129 名	
21. 4. 8	第 15 代校長 内藤 康雄				
	入学式 入学生 122 名 生徒総数 377 名(12)	22.3.10 第 37 回	卒業式	卒業生 125 名	
22. 4. 1	市教委研究奨励校【確かな学力の向上】(2 か年)				
22. 4. 8	入学式 入学生 109 名 生徒総数 366 名(12)	23.3.15 第 38 回	卒業式	卒業生 130 名	
23. 4. 8	入学式 入学生 121 名 生徒総数 357 名(11)				
	体育館耐震工事	24.3.14 第 39 回	卒業式	卒業生 124 名	
24. 4. 1	市教委研究奨励校【確かな学力の向上】(2 か年)				
24.10.31	創立 40 周年記念式典				
25. 4.10	第 16 代校長 村松 二郎				
	入学式 入学生 119 名 生徒総数 351 名(11)	25.3.13 第 40 回	卒業式	卒業生 108 名	
25. 4. 9	入学式 入学生 119 名 生徒総数 364 名(12)	26.3.13 第 41 回	卒業式	卒業生 125 名	
26. 4. 8	第 17 代校長 平石 武				
	入学式 入学生 145 名 生徒総数 385 名(13)				
26.10.31	船橋市教育功労団体の部受賞	27.3.13 第 42 回	卒業式	卒業生 120 名	
27. 4. 8	入学式 入学生 102 名 生徒総数 370 名(11)	28.3.13 第 43 回	卒業式	卒業生 122 名	
28. 4. 8	第 18 代校長 齊藤 守				
	入学式 入学生 116 名 生徒総数 362 名(11)	29.3.10 第 44 回	卒業式	卒業生 145 名	
29. 4. 8	入学式 入学生 101 名 生徒総数 316 名(10)				
.	(体育館照明 LED 工事, 2 棟トイレ改修工事下水道工事)	30.3.15 第 45 回	卒業式	卒業生 100 名	
30. 4.10	入学式 入学生 114 名 生徒総数 330 名(11)	31.3.14 第 46 回	卒業式	卒業生 115 名	
31. 4. 9	第 19 代校長 今泉 淑子	令和			
	入学式 入学生 131 名 生徒総数 341 名(10)	2. 3. 15 第 47 回	卒業式	卒業生 102 名	
令和					
2. 6. 2	入学式 入学生 117 名 生徒総数 359 名(11)	3. 3. 12 第 48 回	卒業式	卒業生 111 名	
3. 4. 8	第 20 代校長 田邊 健司				
	入学式 入学生 106 名 生徒総数 354 名(12)	4. 3. 9 第 49 回	卒業式	卒業生 132 名	
4. 4. 1	市教委研究奨励校【主権者教育】(2 か年)				
4. 4. 8	入学式 入学生 131 名 生徒総数 356 名(11)				
4. 10.29	創立 50 周年記念式典	5. 3. 10 第 50 回	卒業式	卒業生 117 名	
5. 4. 10	第 21 代校長 宮山 祐子				
	入学式 入学生 117 名 生徒総数 356 名(11)	6. 3. 13 第 51 回	卒業式	卒業生 109 名	
6. 4. 1	市教委研究奨励校【主権者教育】(2 か年)				
	入学式 入学生 117 名 生徒総数 363 名(12)	7. 3. 13 第 52 回	卒業式	卒業生 129 名	
7. 4. 8	入学式 入学生 124 名 生徒総数 355 名(12)	8. 3. 10 第 53 回	卒業式	卒業生 115 名	
8. 4. 8	第 22 代校長 荒木 由佳				
	入学式 入学生 111 名 生徒総数 351 名(12)				

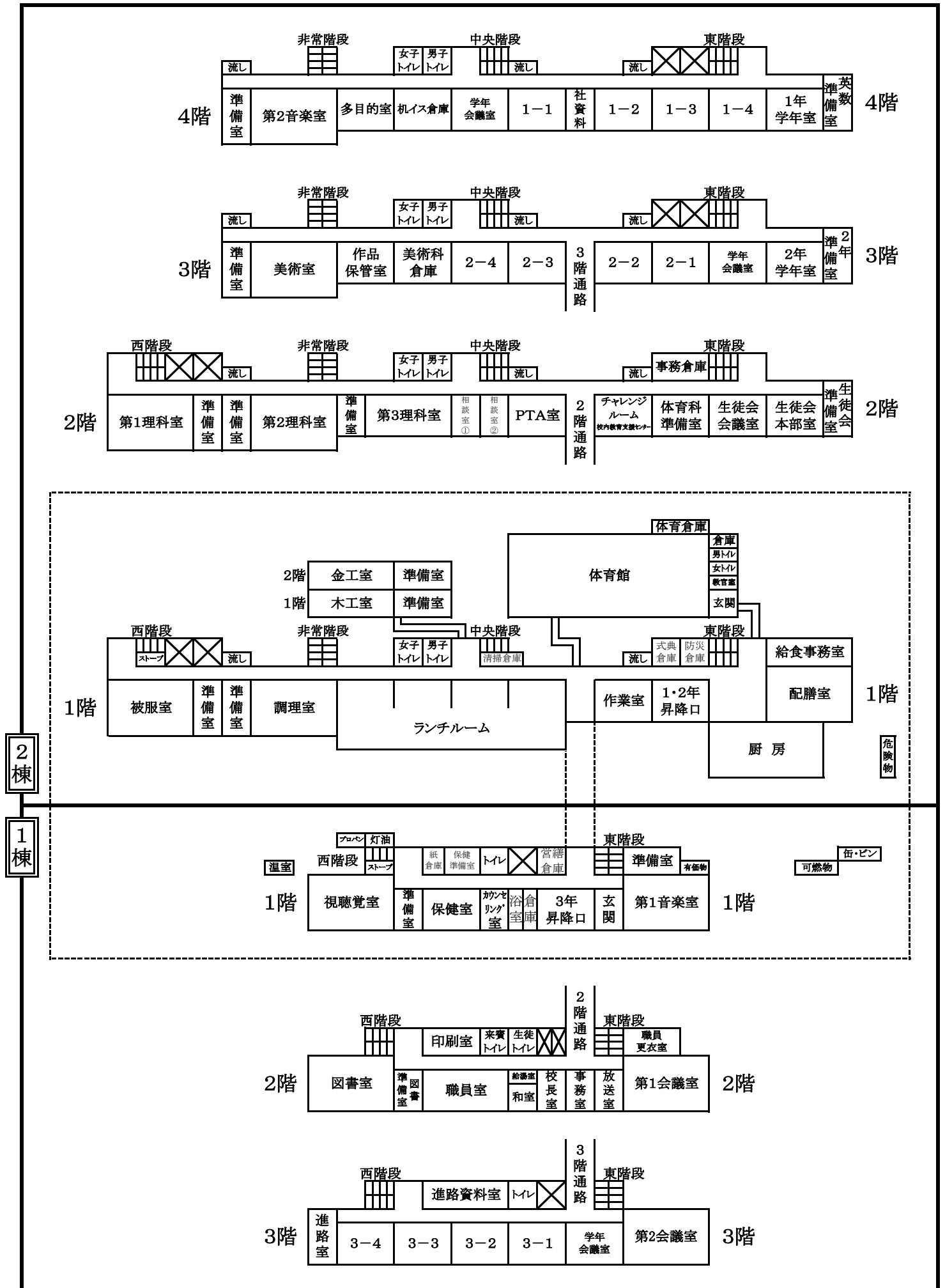
2 学区

学区は船橋市の中央に位置し、新高根、高根町と緑台からなっている。かつては農業が中心の地域であったが、その後、住宅地として急速に開発され、昭和 57 年度には生徒数 1397 名を数えるまでになった。しかし近年はやや減少傾向である。保護者のほとんどはサラリーマンであり、教育への関心や期待は高い。

3 生徒数（令和 8 年 5 月 1 日現在） 4 校地校舎等の概要

	1 年	2 年	3 年	合計
男	52	63	62	177
女	59	61	54	174
計	111	124	116	351
学級	4	4	4	12

校地面積		建物	屋外運動場	その他		
25965 m ²		8948 m ²	12990 m ²	4477 m ²		
教室等室数	管理室		8	図書室		1
	普通教室		12	保健室		1
	特別教室	理科室	3	体育館		1
		音楽室	2	配膳室		1
		ランチルーム	5	調理室		1
		美術室	2	プール		1
		技術家庭	4			
		視聴覚室	1	その他		32





令和8年度 船橋市立高根中学校 グランドデザイン

○教育基本法

- ・世界平和と人類の福祉の向上
- ・心理と正義の希求
- ・公共の精神の尊重
- ・豊かな人間性と創造性の育成
- ・伝統と文化の尊重

○学習指導要領

- ・知識・理解、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力
- ・主体的・対話的で深い学び
- ・社会に開かれた教育課程

○千葉県教育振興基本計画

- ①子供たちの自信を育む
教育の土台づくり
- ②未来を切り拓く「人」の育成
- ③地域全体で子供を育てる体制と全ての人が活躍できる環境づくり

教育目標

自律

自分で考え、表現し、
行動する生徒

尊重

他者を認め、
協調・協働する生徒

貢献

社会のために
力を発揮する生徒

○船橋市教育大綱

- ・多様性と人権への理解を深める教育の推進
- ・複雑化する困難から子供を守り安心して学ぶことができる環境の整備
- ・様々な体験を通じて子供たちが自らの可能性を引き出せる機会の提供
- ・情報リテラシー教育の推進
- ・主権者教育の推進
- ・環境に関する学びの場の提供
- ・「ふるさと船橋」への思いの育み
- ・生涯学習への意識を育む

めざす学校像

- ・安心・安全で環境の整った学校
(命・絆・居場所・環境整備・防災)
- ・生徒が自分の成長を実感できる学校
(個別最適な学び・協働的な学び)
- ・笑顔と活気にあふれる学校
(自己存在感・自己肯定感)
- ・地域や保護者から信頼される学校
(情報発信・連携・協働)
- ・教職員がいきいきと働く学校
(やりがい・チームワーク)

めざす教職員像

- ・信頼される教職員
(生徒・保護者・地域の思い)
- ・資質・能力を高める教職員
(向上心・自己研鑽)
- ・協力し合う教職員
(チーム高根で目標達成へ)
- ・職責を果たす教職員
(役割の自覚と責任)
- ・心身ともに健康な教職員
(教職員の well-being[幸福])

今年度の重点

- 1 学ぶ意欲と確かな学力の向上
 - ・「わかる授業」の実践と基礎基本の定着
 - ・教職員が学び合い授業力アップ
- 2 一人一人を大切にする生徒指導・生徒支援
 - ・生徒理解に基づく積極的な生徒指導
 - ・共通理解と凡事徹底
- 3 3年間を見通したキャリア教育の体制づくり
 - ・目標に向かって粘り強く取り組む姿勢の育成
- 4 地域とともにある学校づくり
 - ・地域とつながる・ともに考える・ともに取り組む
- 5 働きがいのある職場づくり
 - ・よりよいチームを目指し、それぞれの力を発揮する

VI 教育課程

1 教育課程編成の考え方

年間を2期(前期20週、後期15週)に分ける。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
期	前期(20週)(～10月3週)							後期(15週)(10月4週～)				

<1学年>	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	特別 活動	選択	総合	合計
標準時数	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	0	50	1015
前期20週 時数	4	3	4	3	1.5	1.5	3	2	4	1	1	0	1	29
後期15週 時数	4	3	4	3	1	1	3	2	4	1	1	0	2	29

<2学年>	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	特別 活動	選択	総合	合計
標準時数	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	0	70	1015
前期20週 時数	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	0	2	29
後期15週 時数	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	0	2	29

<3学年>	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 家庭	外国語	道徳	特別 活動	選択	総合	合計
標準時数	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	0	70	1015
前期20週 時数	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	0	2	29
後期15週 時数	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	0	2	29

2 日課時刻表

	平 常 日 課		月	火	水	木	金	短縮45分日課(昼食・清掃あり)		
	5時間授業	6時間授業						4時間授業	5時間授業	6時間授業
職員打合	8:10 ～ 8:20									
予 鈴	8:15									
生徒登校	8:20									
朝読書	8:20 ～ 8:30									
朝の会	8:30 ～ 8:40									
1校時	8:45～9:35		①	⑦	⑬	⑰	㉔	8:45～9:30		
2校時	9:45～10:35		②	⑧	⑭	⑳	㉕	9:40～10:25		
3校時	10:45～11:35		③	⑨	⑮	㉑	㉖	10:35～11:20		
4校時	11:45～12:35		④	⑩	⑯	㉒	㉗	11:30～12:15		
昼休み	12:35～13:20		※千教研の日程 短縮45分授業×4時間 (4校時終了時刻12:15) 帰りの会(12:20～12:30)					12:15～13:00		
予 鈴	13:20							13:00		
5校時	13:25～14:15		⑤	⑪	⑰	㉓	㉘		13:05～13:50	13:05～13:50
6校時		14:25～15:15	⑥	⑫	⑱		㉙			14:00～14:45
清 掃	14:20～14:30	15:20～15:30						13:05～13:15	13:55～14:05	14:50～15:00
帰りの会	14:35～14:45	15:35～15:45						13:20～13:30	14:10～14:20	15:05～15:15

Ⅶ 研究計画

1 研究主題

「自ら学び、共により良く生きる生徒の育成」

～自律的な学習態度と、尊重・貢献を通じた人間性の向上を目指して～

2 研究内容

(1) 「自己との対話」によるメタ認知の育成 【自律】

- ・振り返り：授業の終わりに「本時の変容（何ができるようになったか）」と「次時への調整（次に何をすべきか）」を言語化させ、自律的な学習サイクルを確立する。
- ・自己調節力の育成：学習課題や解決方法を選択する場面を設け、自らの学習を主体的にマネジメントする「やり抜く力（GRIT）」を育成する。

(2) 「他者との対話」による協働性の育成 【尊重】

- ・話し合い活動を基にした合意形成：単なる意見交換に留まらず、相手の思考の根拠を理解しようとする積極的傾聴を意識し、多様な視点を受け入れる態度を養う。
- ・心理的安全性の構築：試行錯誤や誤答を「学びの深化」として捉えられる集団づくりを行い、相互の認め合いに基づいた人間性を育成する。

(3) 「集団との対話」による自己有用感の向上 【貢献】

- ・ICTなどを活用して個々の思考を共有し、他者の学びに関する発言や行動を教員が意図的に取り上げ、集団における存在意義（貢献感）を自覚させる。
- ・学習成果やさまざまな活動について、他者(集団)に発信する場を設定し、「自分の学びや活動が他者(集団)に影響を与える」という自己有用感をもたせる。

3 各指導部主題

(1) 学習指導部

- ア 学び方がよくわかり、達成感のある授業づくりに努める。
- イ 主体的に学習できる集団づくりに努める。
- ウ 学習環境を整え、清潔で落ち着きのある環境作りに努める。

(2) 生徒指導部

生徒指導の4つの視点をいかし、生徒の自律を支援する ～発達支持的生徒指導の推進～

- ア 生徒一人一人に「自己存在感」を感じさせる。
- イ 生徒同士、生徒と教師の「共感的人間関係」を大切にする。
- ウ 生徒に「自己決定の場」を与える。
- エ 生徒一人一人が尊重され、安心して授業や学校生活が送れる環境を大切にする。

(3) 特別活動指導部

生活上の課題解決を通して集団や自己の生活を向上させていこうとする生徒の育成

- ・他者と協働する集団活動の意義を理解し、行動の仕方を習得する。
- ・集団や自己の生活、人間関係の課題を見つけ、課題に向けて話し合ったり、意思決定したりすることができる能力を育成する。
- ・自主的、実践的な集団活動を通して身につけたことを生かして、よりよい生活や人間関係を形成し、人間としての生き方について考え、自己実現を図ろうとする態度を養う。

4 研究組織について

- (1) 研究推進委員会を設定し、各指導部の取り組みや全体の研究について検討と確認を行い、研究主題に沿った取り組みを促す。
- (2) 学習指導部と連携しつつ、教科研究の改善とまとめにあたる。
- (3) 各教科担任で、本研究を進める。
- (4) 特別活動指導部を中心に、話し合い活動の活発化を図る。